



# 学校だより

令和元年5月31日  
横浜市立権太坂小学校  
6月号

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/gontazaka>



## 新たな自分を創る

校長 野口 みか子

運動会では、熱中症対策のためのプログラム変更等にご理解・ご協力を頂き、ありがとうございました。

おかげさまで、無事に子どもたちは伸びやかに演技・競技に向かうことができました。体を思いきり動かし、心を深く耕し、自分自身を大きく成長させる機会とすることができました。運動会に向けて伸ばしてきた力を生かして、子どもたちが互いの結びつきを更に強くしていけますよう、指導・支援していきたいと思えます。

また、本校運動会を迎えるにあたりまして、特に近隣の方々には練習中から音の響きがある中子どもたちの成長を共に願い見守ってくださり、ご理解・ご協力を頂きましたことに改めて感謝申し上げます。そして、PTA・親父の会の方にはパトロールにも加わって頂き、参観マナー向上にご尽力頂きました。子どもの教育に責任をもつ大人・保護者としてよい手本を示していくことの大切さについて、改めて考える機会となりました。これからも模範を示すことを大切にしながら、共に本校教育活動充実のためにご協力頂きますようよろしくお願いいたします。

さて、6月は本校の読書月間です。

ご家庭では、どのような読書習慣をお持ちでしょうか。小学生のうちに読書の習慣をつけることで、使える言葉の数が増え、様々な知識を得られるよさがあることはすぐに想像できることです。しかし、本を読むよさは、それだけに留まりません。

本を読むことは、子どもがもう一人の自分を創ることにつながり、その「もう一人の自分が今の自分を思慮深くしてくれる」と考えます。これこそが本を読む大切さと考えたほうがよいかもしれません。

本を読むことで、まだ自分では見たこともない世界と出合います。すると、その新しい世界に出合ったとき、様々な気持ちや考えを心の中で巡らせます。すると「今の自分」と「新しい感じ方をしている自分」との会話が始まります。その違う二人の自分が共感したり、違う意見を交換したりする対話が自分の考えを深くします。そして、今の心を耕してくれます。その違いが大きければ大きいほど、自分と対話を繰り返せば繰り返すほど、考えや思いは掘り下げられ、深くなります。こうして、自分の中に新たな自分を創り出していくのです。また、様々な気持ちや感じ、考えをどう言葉で表すのかも本の言葉をまねしているうちに自分のものになっていきます。

ですから、静かな環境でじ〜っと本を読む時間は、私たち親や先生の教え・育てることを力強く助けてくれる大切なものです。ほかに、親子で同じ本を子どもの力に合わせて声を出して読みかわすことも新たな発見をする、心を交わすいい時間にもなります。

これから大切な梅雨がやってきます。草木が成長するには欠かせない時期です。雨降りの日には読書が進みます。ぜひ、ご家族で、1日10分でもよいので、テレビを消して、ゲームやスマホを置いて、じ〜と読書をする時間を持ってみてください。居ながらにして新たな世界に出合えます！！1日10分読書を進めてみてください。

私たち人間にとっても成長を促してくれる大切な梅雨の時期、読書によって豊かな自分を創り出して欲しいと思えます。